

国東市消防本部特別点検を実施

国東市消防本部（國廣秀光消防長）は、1月5日（金）、照山市長による平成19年特別点検を受けました。

市内の各消防署、出張所から参加した署員46名がきびきびと整列し、服装や手帳などの点検を受けた後、照山市長の訓示を受け、平成19年スタートに当たって、職務遂行の意気込みを新たにしました。



煙体験ハウス 宝くじで補助

市消防本部では、（財）日本防火協会から助成を受け、防災訓練で体験学習をする備品として、煙体験ハウス・煙発生装置を購入し防災訓練などに活用しています。

煙に巻かれたとき、「地面に近いほど煙が少ない」ということを実際に体験し、這うようにして進み、煙の充満する中から脱出する訓練ができます。また、同時にAED（自動体外式除細動器）トレーナーも購入し、今後ますます普及促進されるAEDの取扱い訓練ができ、効率よく実施できるようになります。

今後も、学校・病院・工場などの事業所や地域での防災訓練などに活用することとしています。

※この助成事業は、宝くじの普及広報を目的として行われているもので、宝くじの助成金で整備をしました。



煙体験ハウスやAED（写真上）を使った防災訓練の様子（夢咲きくにさきふるさとまつり・平成18年10月29日）

大切な文化財を火災や災害から守ろう！

第1回国東市 文化財防火デーの 防災訓練を実施

1月28日（日）、安岐町富清の史跡三浦梅園旧宅で「文化財防火デー」の防災訓練が、西武蔵地区の皆さんをはじめ、梅園文化財愛護少年団、市消防本部、消防団から約100名が参加して行われました。

文化財防火デーは、昭和24年に重要文化財「法隆寺金堂壁画」が消失してしまった事を戒めとし、火事や災害などから文化財を守ろうと壁画の焼けた1月26日に制定されました。この日を中心に、全国各地で防火訓練や様々な防災の取り組みが行われました。

身近な文化財を守り、地域の伝統文化を末永く伝承していきましょう。



▲自動放水銃による消火訓練の様子



▲消火器を使っでの消火訓練も行われました

小学生が消防団年末夜警に参加

安岐町下原機動隊

国東市消防団安岐方面隊第16分団第2部下原機動隊が行った年末特別警戒（12月28日（木）・29日（金）・30日（土））に、地元の子どもたちが参加しました。

28日の夜警に今回初めて地元の小学生11名が参加。夜の寒い中、提灯の明かりで、拍子木を響かせ、消防団員と一緒に地区内を回りながら声高らかに「火の用心」を呼びかけました。

夜警終了後は、消防団員の手作りのカレーライスを食べながら、火災の怖さや、災害時どうしたらよいかなどの話を聞きました。

